

【小学校・第3学年道徳 どうすることが正しいか】①

意見の共有を効率的に行い、多様な意見に触れ、多面的・多角的に考えることを意識した授業

本時の目標

自分が正しいと思うことを行動に移せずもやもやしている主人公の心情を考えることを通して、自分が正しいと判断したことを行うことの難しさや大切さ、そのよさに気づき、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする道徳的心情を育む。

ICT活用のポイント

児童アンケートをすぐに集計し、活用できる。友達の見解を自分の端末ですぐに読むことができる。全体での共有がすぐにできる。

【つかむ】 ICT活用
道徳的価値に対する自分たちの
状態を知る。

【追究する】 ICT活用
友達の見解に触れ、道徳的価値
について再考する。

【まとめる】
道徳的価値に対する自分の考え
をまとめる。

事例の概要

○グーグルフォーム・ムーブノートで児童アンケートの結果を示し、道徳的価値に対する自分たちの状態を知る。

→【事例におけるICT活用の場面①】

○発問に対する自分の考えをできるだけ多く出すことが、話合いの充実につながることを伝え、自分の考えをムーブノートに何度も入力するよう言葉掛けを行う。

○多様な考えに触れ、自分の考えを深めるために、友達の見解を聞いて納得したり発見したりした場合には、ムーブノートの拍手機能で示すよう言葉掛けをする。

○児童の考えをICT機器を活用して集約し、掲示用モニタで紹介することで、考えの共有ができるようにする。

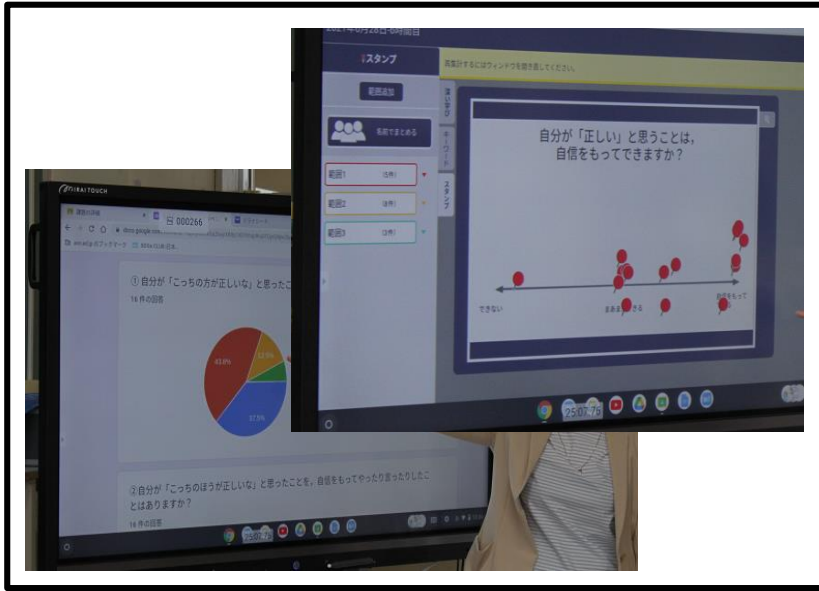
→【事例におけるICT活用の場面②】

○道徳的価値に対する多様な見解を知り、学習のめあてについてもう一度考える。

【小学校・第3学年道徳・どうすることが正しいか】②

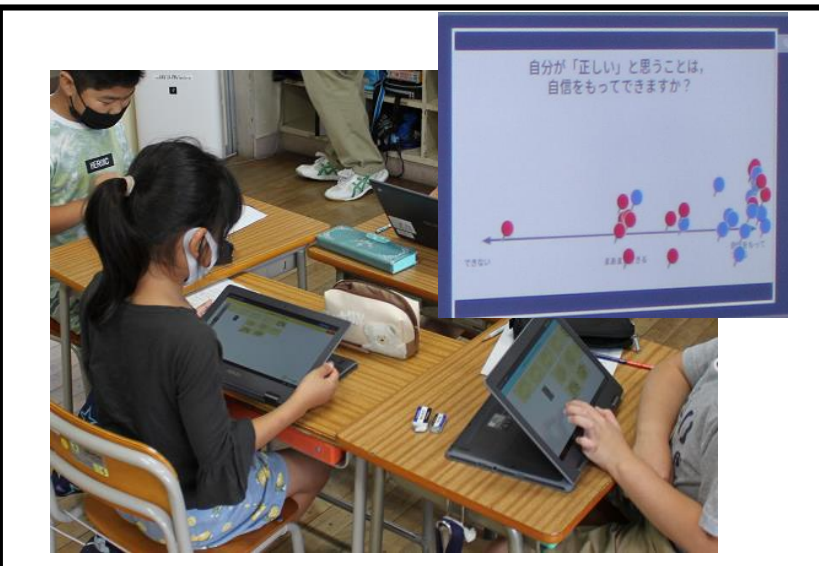
意見の共有を効率的に行い、多様な意見に触れ、多面的・多角的に考えることを意識した授業

【事例におけるICT活用場面①】 (活用したソフトや機能) ・Googleフォーム・ムーブノート



授業前に、教師からクラス全員にグーグルフォームおよびムーブノートでアンケートを行った。児童が回答をするだけで、自動で集計が容易にできるため、準備に時間がかからず提示をすることができた。クラスの児童が本時で学ぶ道徳的価値に対してどんな意識を持っているのかを確認し、興味関心を高めて授業の導入に活用することができた。

【事例におけるICT活用場面②】 (活用したソフトや機能) ・ムーブノート



発問に対する答えをムーブノートに書き込んでいくことで、たくさんの友達の意見に触れることができた。また、全体での共有も容易にできた。友達の意見に触れて改めて考えた価値に対する自分たちの向き合い方を当初の自分たちの意見と比較することも容易にでき、学習による自分たちの心の成長も感じることができた。